

☆中国

技術開発

先端防弾材料、警察装備博覧会で注目集める

このほど北京で第7回中国国際警察装備博覧会が開催され、展示された中国の先端防弾複合材料に、業界関係者から注目が集まった。

世界では、局所的な地域衝突や世界的なテロ防止への要求が高まっており、そのため防護装備や装甲へのニーズが高まり、軍・警察はより優れた装備を必要としている。内外市場の需要増に伴い高性能の防護材料は供給タイトな状況となっている。現在、中国市場で出回っている防護複合材料は、アラミド繊維の複合材料と超高分子量ポリエチレン（UHMWPE）繊維の複合材料に分けられる。そのうち、超高分子量ポリエチレン繊維を使用した複合材料は、防弾着、防弾ボード、防弾装甲に広範に応用されている。

専門家によると、現在、中国の防弾製品の生産能力は、初歩的な段階はクリアしているが、高性能製品の生産は依然、弱い状況にあるという。今回の博覧会で中国の国産先端防弾材料が多く出展されたことは、中国の高性能繊維から複合材料までの産業チェーンの発展において意味があるという。

会場では、「普優泰」（ProtUD）の先端防護材料が特に注目を集めていた。この製品は、オランダ DSM の先端繊維と中国の防護複合材料メーカー、北京普諾泰新材料科技が共同で出展したもので、防弾性能が高いのに加えて、超軽量で、市場の同類製品より 30～40% 軽く、現在中国市場では最も先端的な防弾材料であり、海外の先進レベルに達しているとされている。同製品の開発責任者によると、この新型防弾材料の開発については北京普諾泰の複合材料生産技術、開発技術が重要な役割を果たしたという。

☆オーストリア

繊維景況

Lenzing、コスト削減加速へ

大手レーヨンメーカーLenzingは、このほど、レーヨンの国際価格が低水準で推移していることを受け、コスト削減策を追加的で実施する必要を明らかにした。これを機にグループの戦略も幅広く見直し、結果は2014年末をめどに発表する予定という。

2014年第1四半期の報告の中で、「excelLENZ 2.0」と呼ばれるコスト最適化策を導入し、成果を上げたことが報告されており、それによると、同社では既に人員削減策が実施されていたが、このプログラ

ムによって社内の一時的解雇を防ぐことができたという。しかしながら、繊維価格の点からすると2014年に6千万～8千万ユーロ以上を削減したとしても、ヨーロッパ地域の設備でセルロース繊維の長期的な収益性を維持するには不十分である。現在のコスト削減の目標額である、2016年までに1.6億ユーロという数値は現況を踏まえると増額せざるを得ない状況となっている。

Lenzingによると、かつての競争力を回復するためには、更にコスト最適化を推し進める必要があり、具体的には、何を、どこで製造して、最高品質を保ちつつ且つ最適なコストで長期的な生産が可能であるか、について戦略的構造改革の枠組みの中で決定しなければならず、それは徹底的に行う必要があるとしている。

加えて、戦略グループを設立することが全社的に決定された。それによってLenzing AGによる特殊繊維の開発、独自の販売提案及び収益性の確保のために生産状況や市場でのポジショニングの管理を行い、オーストリア国内の設備についても同様にしていく予定であるという。

☆トルコ

買 収

IVL、トルコのPETメーカー買収へ

タイのポリエステルメーカー大手 Indorama Ventures (IVL) はこのほど、トルコのポリエステル総合メーカー、Artenius TurkPETを買収したと発表した。トルコとその周辺地区は急速に成長しており、この地区への投資はIVLがグローバルリーダーとしての地位を固めるための布石であるという。また7,500万人を超える人口を有するトルコは、近代化が浸透し、PET需要も伸びており、中央アジア、中近東、北アフリカ及び南ヨーロッパへ通じる陸路・海路を備えた好立地条件を有している。

今回の買収に先立ち、IVLはトルコのポリエステル・PETメーカー、SASA Polyester Sanayi A.S (SASA) の株式51%を取得し、トルコ市場への足場を固めている。(海外速報No.989参照)

IVLは、ヨーロッパとアジア-中東市場へのアクセスとしてトルコに照準を定めており、IVLの3D戦略[市場拡大、高付加価値製品の拡大、原料調達の垂直統合]は最近のトルコ市場への進出へと要約されている。同社は統合ポリマー製品及び高付加価値な繊維品を比較的廉価に提供することにより、途上国市場及び成熟市場の両者を取り込むねらい。

(以上)